

新藤兼人監督の百年

平成24年4月29日 石内公民館
 <中国新聞「私の道」などの資料をもとに作成

年号	西暦	年齢	新藤兼人監督のできごと	石内のできごと	社会のできごと
明治	24	1891		石内尋常小学校(3年)ができる。	
	25	1892			中国新聞社ができる。
	27	1894			日清戦争がおきる。
	33	1900		小学校の建物に2階を増築	
	37	1904			日露戦争がおきる。
	41	1908		石内尋常高等小学校ができる。 (尋常科：6年、高等科：2年)	
	44	1911			五日市町に改称(五海市村)
大正	元	1912	0 佐伯郡石内村で生まれる。 (兄正登、長姉久代、次姉春子)		広島市内に電車が走る。
	3	1914			第一次世界大戦がおこる。
	4	1915		石内村に電灯がとまる。	
	10	1921	9 借金の連帯保証人が元で家が傾き始める。		
	12	1923			関東大震災
	13	1924			広電宮島線開通(草津~廿日市)
	14	1925	13 石内尋常高等小学校卒業。		
	15	1926	14 10月4日母とよ亡くなる。		
昭和	2	1927	15 尾道の兄のうちに引き取られる。	石内小学校改築、運動場拡張	世の中が不景気となる。
	8	1933	21 山中貞雄監督の映画「盤獄の一生」に感動し映画を志す。		
	9	1934	22 新興キネマ、京都太秦撮影所に入る。		
	10	1935	23 美術監督である水谷浩に同行して上京し映画美術の指導を受ける。		
	11	1936		石内小校歌制定(永井建子作詞作曲)	2. 26事件
	12	1937	25 溝口健二監督の映画制作で美術助手を務める。		
	13	1938	26 「南進女性」というシナリオが映画化され、脚本家デビュー。		
	14	1939	27 久慈孝子さんと結婚		
	16	1941			太平洋戦争がおきる。
	17	1942	30 溝口健二監督に弟子入り志願シナリオ「強風」が当選し溝口監督が京都祇園で御馳走をしてくれる。		
	18	1943	31 愛妻孝子さんが8月7日急性結核で亡くなる。		
	19	1944	32 招集され呉海兵団に入営		
	20	1945	33 宝塚の海軍航空隊で除隊。大船脚本部に復帰	広島に原爆投下され、校舎の窓ガラス破壊される。	太平洋戦争終わる。
			二番目の妻美代さんと結婚		